

企業格付けとは～その1～

Q：金融機関へ融資申込みの際、決算書を求められます。どの様な点を見ているのか教えてください。

A：企業格付けは融資条件に関係しています。

1. 企業格付けの目的と銀行の対応

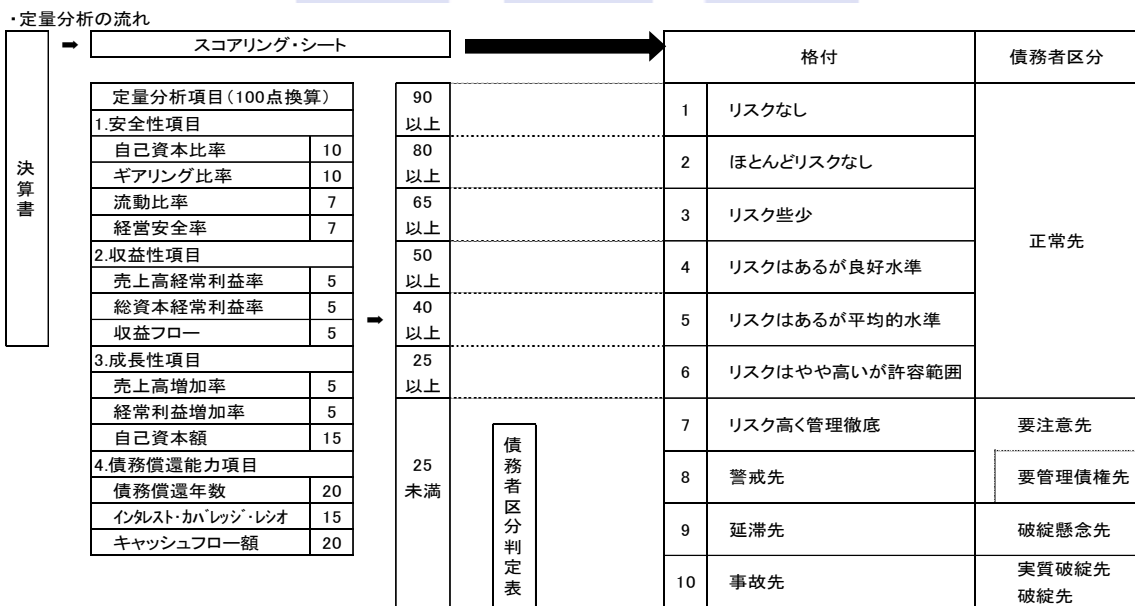
銀行は、主に決算書により企業格付けを行い、貸付金の回収リスクを管理しています。企業格付けを基に、①融資実行の判断、②金利水準の決定、③担保保全水準の決定、④審査要件・審査手続等の対応を決定します。格付けの良い会社は、低利で迅速な融資を受けることができます。

2. 企業格付けの方法

定量要因（財務指標）に定性要因（市場動向・業暦等）を加味して、主に安全性・収益性・成長性・債務返済能力等の定量要因のスコアリング（100点満点）により、以下の10段階に「格付け」されます。

3. 企業格付けと債務者区分

一方で銀行は、金融検査マニュアルに従って、融資先の健全性を自己査定しなければなりません。自己査定の結果、健全性の程度により以下の5段階の「債務者区分」を行います。



・債務者区分

債務者区分	内容
正常先	A 業績が良好であり、財務内容にも特段問題のない債権者
要注意先	B 業績低調、延滞など、今後の管理に注意する債権者
要管理債権先	B' 要注意先のうち、要管理債権のある債務者
破綻懸念先	C 現在、経営破綻の状況にないが、今後、経営破綻が懸念される債権者
実質破綻先	D 法的・形式的な経営破綻の事実はないが、実質的に破綻に陥っている債務者
破綻先	E 法的・形式的な経営破綻の事実が発生している債務者

令和5年7月
税理士法人石井会計